

(個人)

(報告：田中)

四郎岳 2,156m (群馬百名山)

【日時】24年5月21日(月) 晴れ

【メンバー】田中 (単独)

【行動記録】

大宮発(4時48分、車)⇒丸沼温泉登山口  
(7時19分)⇒四郎峠(9時8分)⇒四郎岳  
(10時19分)⇒四郎峠(11時4分)⇒  
燕巣山(12時28分)⇒四郎峠(13時38分)  
⇒登山口(15時)

歩行時間 6時間48分

【装備・食料等】

個人装備：携帯電話、ヘッドランプ、雨具、コンパス、地図、救急薬、水、  
食事(昼食)、行動食、ツエルト、軽アイゼン

【感想】

丸沼温泉の駐車場に車を止めさせてもらい、四郎沢を渡ろうとした時、一瞬空が暗くなった。空を見上げると月を飲み込んだような表情を太陽が見せた。金環日食を直接見てしまった。7時34分のことと後で聞いた。北関東に当たるこの地域は一日中いい天気であった。

さて、四郎岳の登山道は、笹も払われて、ピンクの目印がいたるところにあり、迷う心配はまったくない。後は、熊に出会わないことを祈るだけであった。

変わりにカモシカに遇った。四郎峠に着くと、雪を抱いた燧ヶ岳が正面に現れる。四郎岳を登り始めると、やがて、急登の雪道となり、息を切らせて頂上に着くと、南側が切り開かれていて、日光白根がどっしりと聳えている。

日光連山もはっきり見える。四郎峠に戻ると、もう一つと思い燕巣山に挑戦したが、最後の直登がきつかった。しかし、山頂からの眺めは、北は尾瀬の山々、平ヶ岳、南側は日光連山と白銀が素晴らしい。

雪山の疲れもあり、後はケガをしないように飽きない下山道を丸沼温泉へと下った。

四郎岳 ⇄ 四郎峠 ⇄ 燕巣山

↑ ↓

右股分岐点

↑ ↓

登山口